

監査報告書

公益財団法人

助成財団センター

理事長 出口正之 殿

私たち監事は、2022年4月1日から2023年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計監査に関しては、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書）、事業報告書及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 財務諸表等

会計監査人である市東康男公認会計士の監査方法及び結果は相当であると認めます。

2023年5月17日

監事 有井和久



監事 新里智弘

